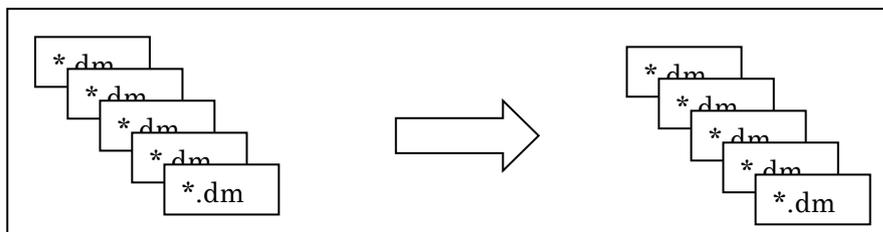
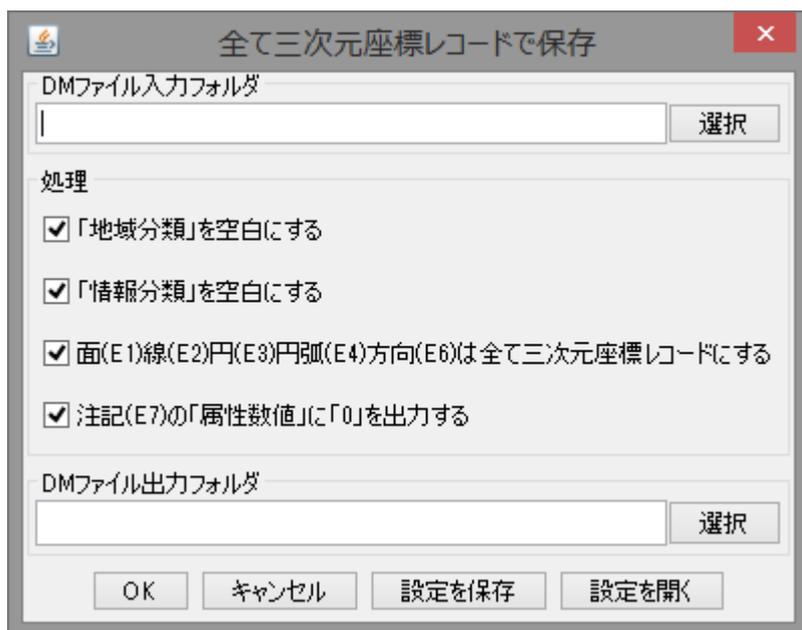


1. 全て三次元レコードで保存

メニュー[DM から DM]に新メニュー[全て三次元レコードで保存]を追加しました。

作業規定の準則の DM(拡張 DM)ファイルから、作業規定とは異なる仕様の DM ファイルを作成します。



DM ファイル入力フォルダ

変換元の DM データファイルのフォルダを指定します。このフォルダの「.dm」を参照します。

「地域分類」を空白にする

グループヘッダレコードと要素レコードの「地域分類」を全て半角スペースにします。

「情報分類」を空白にする

グループヘッダレコードと要素レコードの「情報分類」を全て半角スペースにします。

面(E1)線(E2)円(E3)円弧(E4)方向(E6)は全て三次元レコードにする

面(E1)、線(E2)、円(E3)、円弧(E4)、方向(E6)について、座標は三次元レコードで出力します。

作業規定の準則では、等高線は属性数値に標高値を記録し、二次元座標レコードで記録するようになっていますが、ここでは三次元レコードで出力します。

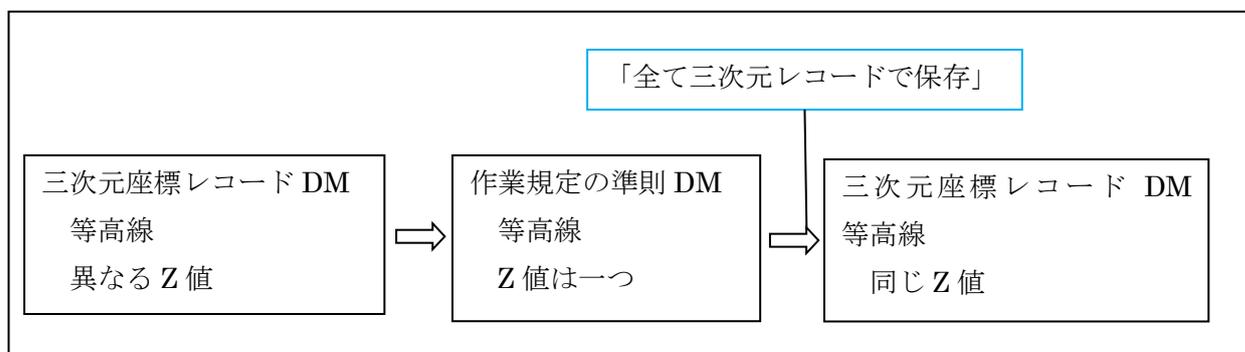
また、元々二次元の要素は、標高値=0 の三次元座標レコードで出力します。

注記(E7)の属性数値に「0」を出力する

出力する DM の注記(E7)について、属性数値は「0」で出力します。

この処理で作成するような内容の DM を、以下の説明のため「三次元座標レコード DM」とします。

元の三次元座標レコード DM について、等高線の Z 値が同じ値ではない場合、作業規定の準則の DM になった段階で、同じ Z 値になります。これを、この形式の DM に変換した場合、この異なる Z 値の情報はなくなります。

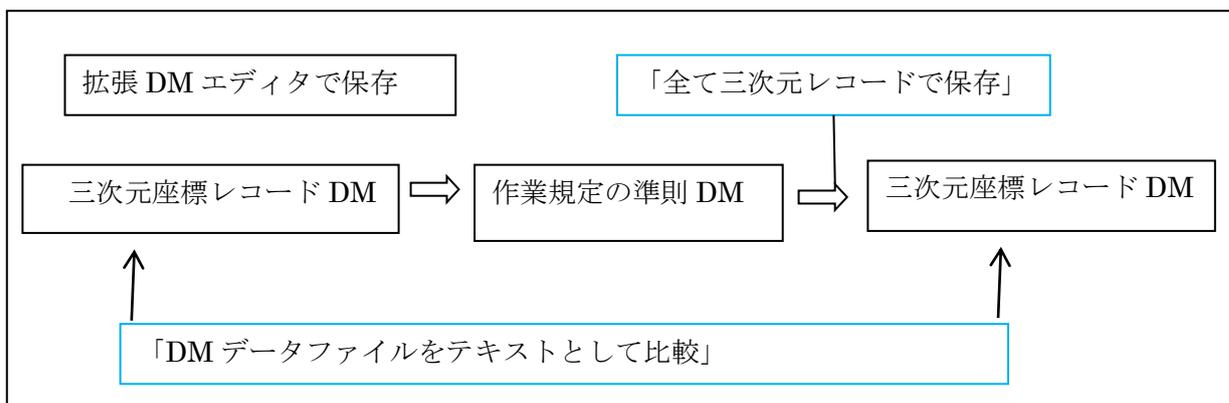


2. DM データふぁりうをテキストとして比較

新メニュー[DM から変換]-[DM データファイルをテキストとして比較]を追加しました。

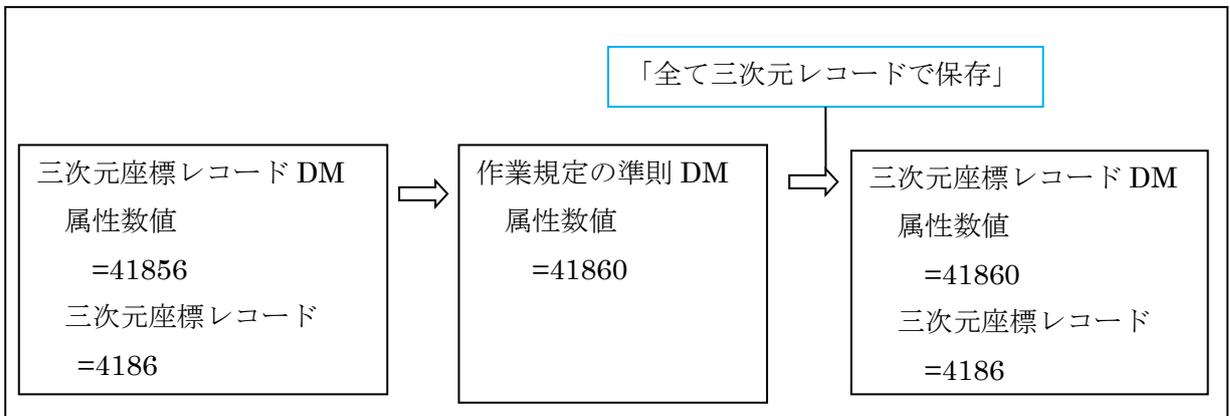
同じ名前の DM ファイルをテキストファイルとして各行を順に比較し、文字列が異なる行をレポートします。

メニュー[DM から DM]-[全て三次元座標レコードで保存]で作成した「三次元座標レコード DM」ファイルの内容を確認するため作成した機能です。

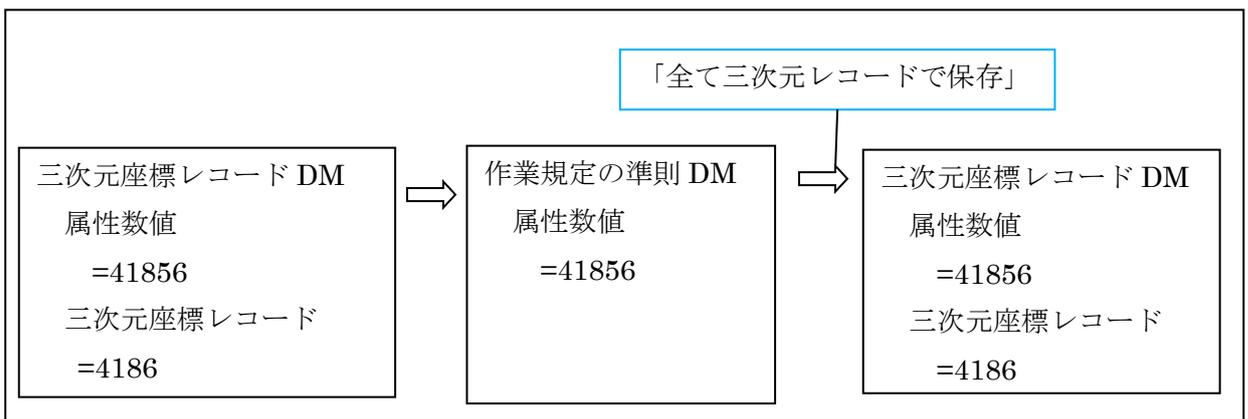


異なる文字列 行=87401↓												
1	2	3	4	5	6	7	8	↓				
1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234	↓			
E67312	354 2 03360 00	2 1 0 0	41856 0	140600000000				1↓				
E67312	354 2 03360 00	2 1 0 0	41860 0	140600000000				1↓				
異なる文字列 行=87403↓												
1	2	3	4	5	6	7	8	↓				
1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234	↓			
E67312	355 2 03360 00	2 1 0 0	42245 0	140600000000				1↓				
E67312	355 2 03360 00	2 1 0 0	42250 0	140600000000				1↓				
異なる文字列 行=87405↓												
1	2	3	4	5	6	7	8	↓				
1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234	↓			
E67312	356 2 03360 00	2 1 0 0	46373 0	140600000000				1↓				
E67312	356 2 03360 00	2 1 0 0	46370 0	140600000000				1↓				

上記のケースでは、基準の DM の方向(E6)について、Z 値が三次元レコードで記録されていますが、属性数値が、その Z 値と異なり、作業規定の準則の DM になった段階で、三次元レコードの Z 値が属性数値に記録され、再度、三次元レコードに記録される段階で、属性数値の Z 値が記録されたケースです。



拡張 DM エディタのバージョン 8.0.11 α (2015/01/12)から、DM をリードする際に、精度が高い属性数値の方を優先するように修正しました。



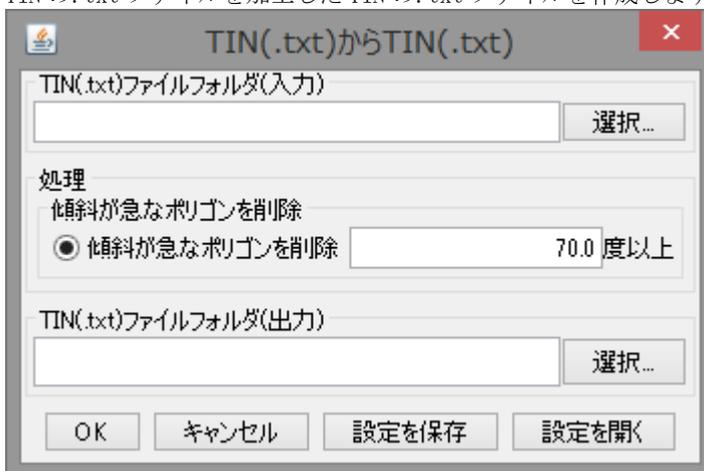
両方の DM データファイルが全く同じ場合、出力するテキストファイルのサイズは0です。

名前	更新日時	種類	サイズ
memo	2015/01/11 12:03	ファイル フォルダ	
02.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB
03.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	6 KB
04.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	1 KB
01.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB
02.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB
03.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB
04.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB
03.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	1 KB
04.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	2 KB
01.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	1 KB
02.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB
03.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB
04.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	2 KB
01.txt	2015/01/11 16:14	テキスト文書	0 KB

3. TIN(.txt)から TIN(.txt)

新メニュー[TIN]-[TIN(.txt)から TIN(.txt)]を追加しました。

TIN の .txt ファイルを加工した TIN の .txt ファイルを作成します。



TIN(.txt)ファイルフォルダ(入力)

TIN の .txt ファイルのフォルダを指定します。このフォルダの .txt ファイルを参照します。

傾斜が急なポリゴンを削除

TIN の三角ポリゴンのうち、指定された傾斜角以上の傾斜が急な三角ポリゴンを削除します。下図のようなケースを想定しています。

